

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス羽ばたき
------	-----------------------

公表日 令和8年 1月 26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		基準人員よりも大幅に職員の配置を行っている	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		全てに対してバリアフリーであり、児童に分かりやすく見通しを行っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		用途に合わせて使用しているが、使用していない時は、クールダウン等の利用をしている	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	精度を高める為、意見交換の場を増やしていきたい	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	その都度、職員には周知しているが、更に精度を高めていきたい	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	定期的に職員全員で会議をする機会があれば尚良い	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	短時間でもその様な機会を、更に設けていきたいと思う	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	7		今後検討する	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		原案が出来次第、職員全員で話し合い、現場の先生方から話を聞き再検討を行っている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個別支援計画の原案時から、職員で共有を行っている	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	打合せが不十分だと感じる事がある	事前打ち合わせの時間を確保できる様努力する
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	打合せが不十分だと感じる事がある	シフト・送迎上時間確保が難しい面があるが、工夫をして更に実施する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		タブレットや紙媒体で、全ての記録を残すようにして、職員が翌日確認をしてから支援に当たっている	継続して実施
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			継続して実施
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			継続して実施
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		通所児童に関しては、出来る限り訪問を行い共有を行っている	児童が関わっている先生方にも事業所に来て頂けるよう、工夫を行うようにしていきたい
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			継続して実施
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			継続して実施
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		2		児童発達支援センターとの連携はあるが、現段階ではその様な機会はない。今後、必要な場合は設けていきたい
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		今後、実施出来るように努力する
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			継続して実施
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		今後の実施度を高めていきたい
保護者への支援	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			継続して実施
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			継続して実施
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			継続して実施
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			継続して実施
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		今後の実施に向けて、取り組んでいきたい

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			継続して実施
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			継続して実施
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			継続して実施
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			継続して実施
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		今後の実施に向けて、取り組んでいきたい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			継続して実施
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			継続して実施
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			継続して実施
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		対象者が居ない	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			継続して実施
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			継続して実施
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			継続して実施
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1		虐待防止研修は行っているが、更に精度を高めていきたい
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			継続して実施